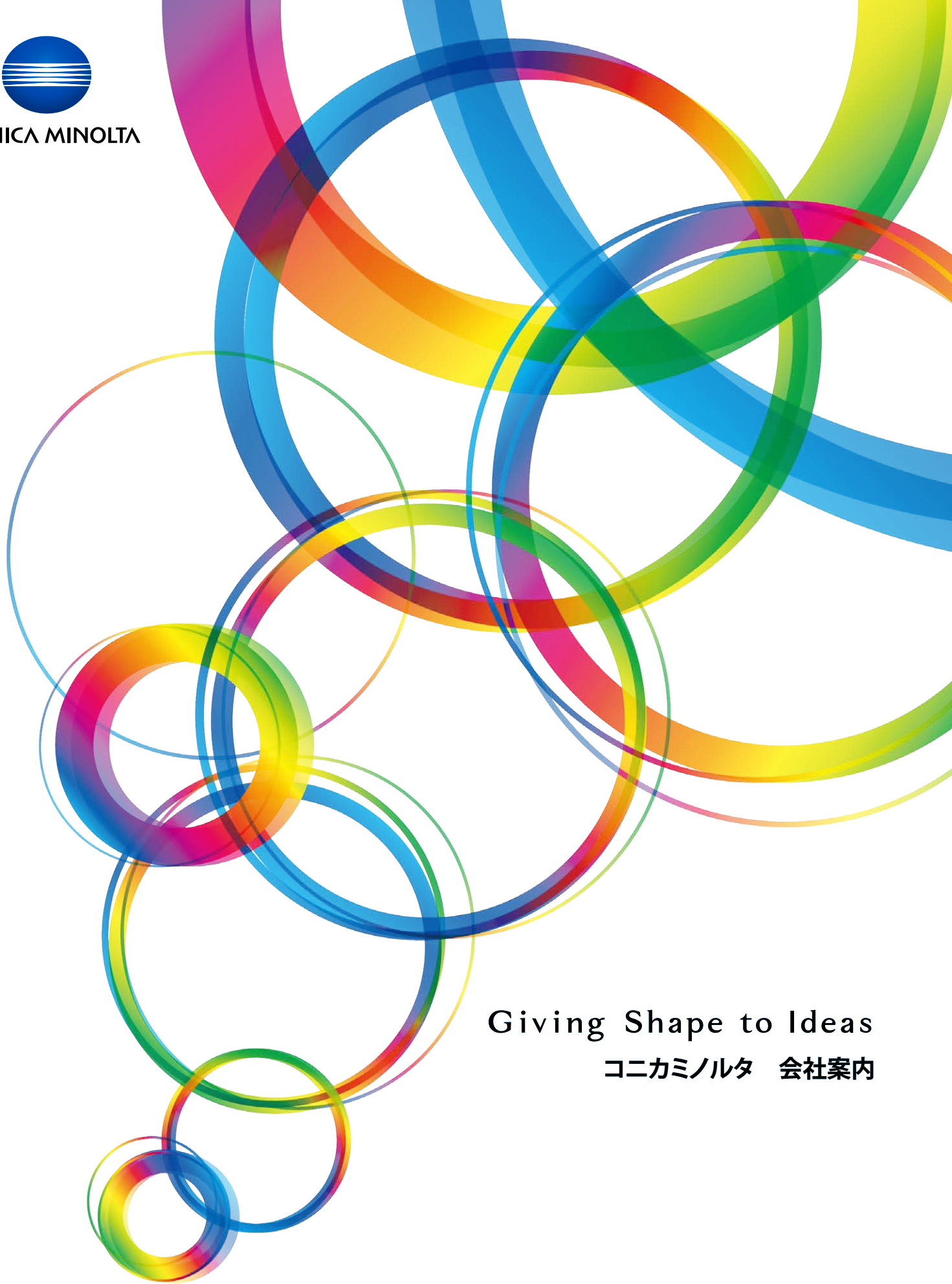




KONICA MINOLTA



Giving Shape to Ideas
コニカミノルタ 会社案内

「光の技術」を原点に 新しい価値の創造へ

光を感じる、集める、曲げる——
フィルムやレンズの開発・製造を通じて培ってきた「光を自在に操る技術」。
それは、私たちコニカミノルタの価値創造の原点です。
時代を越えて受け継がれてきた独自の「光の技術」は、
情報機器や光学デバイス、医療用画像診断システムなど
新しい価値の創造へと結実してきました。
私たちコニカミノルタは今、そしてこれから——
イメージングの領域で、そしてその領域を超えて
新しい時代に求められる「新しい価値」の
創造にチャレンジしていきます。



経営理念

新しい価値の創造

コミュニケーションメッセージ

Giving Shape to Ideas

革新はあなたのために。

写真文化の創造へ

- 1873年 杉浦六三郎、「小西屋六兵衛店」で写真および石版材料の取り扱い開始（後のコニカ株式会社の創業）
- 1903年 国産初のブランド付カメラ「チェリー」手提用暗函」発売
- 1928年 田嶋一雄、「日独写真機商店」（後のミノルタ株式会社）を創業
- 1940年 国産初のカラーフィルム「さくら天然色フィルム」発表

イメージングへ

- 1957年 ブラネタリウム一号機完成
- 1960年 複写機一号機「コピーマスター」完成
- 1975年 世界初の連動ストロボ内蔵35mmカメラ「C35EF（ピッカリコニカ）」発売
- 1977年 世界初の自動焦点カメラ「C35AF（ジャスピッコニカ）」発売
- 世界初の指先測定型パルスオキシメーター「OXIMET MET-1471」発売
- 1983年 世界初、倍率が無段階に選べる「ズーム複写機」「EP450Z」発売

デジタル化・ネットワーク化へ

- 1984年 コンパクトディスク用超高精度非球面プラスチックレンズを開発
- 1985年 本格的なオートフォーカス機能を備えた一眼レフカメラ「α-7000」発売
- 1987年 簡易色校正システム「Konsensus」発売
- 1989年 医用画像出力システム「レーザーイメージャーLi-10」発売
- 1990年 モノクロレーザープリンター「SP101」発売
- デジタルフルカラー複写機「CF70」発売
- 2000年 液晶偏光板用TACフィルム事業の本格展開開始
- 「重合法トナー」の製造・販売を行う合弁会社、「株式会社コニカミノルタサプライズ」発足
- 2003年 コニカとミノルタが統合、コニカミノルタホールディングス株式会社誕生
- 2004年 直営プラネタリウム館「サンシャインスターライトドーム“満天”」オープン
- 次世代インクジェットテキスタイルプリンター「ナッセンジャーV」発売
- 2005年 世界初の位相コントラストマンモグラフィ「Mermaid」発売
- 2007年 フォト・カメラ事業を終了
- 「デジタルイメージングスクエア」初開設
- 2010年 デジタル印刷システム「bizhub PRESS C8000」発売
- 2011年 カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR」発売
- 世界初のりん光発光材料のみを使用した有機EL照明パネルを発売
- 2012年 「コニカミノルタプラネタリウム“天空”in 東京スカイツリータウン®」オープン
- 2013年 経営体制を再編し、社名をコニカミノルタ株式会社に變更

目指すべき企業像 「足腰のしっかりした、力強く成長を続ける企業」 「社会に支持され、必要とされる企業」の実現に向けて

力強い成長を継続するために経営体制を再編

デジタル・ネットワークの急拡大に伴う経済活動や情報伝達のボーダレス化、資源・エネルギー問題の深刻化など、私たちを取り巻く経営環境は、既存の価値観からの大転換を迫られる急激な変化が続いています。このような状況下において、企業はこれまで以上にスピード感を持った経営を行うことが求められています。この度、コニカミノルタは、環境変化に機敏に対応し、グローバル競争に打ち勝って力強い成長を続けていくために、経営体制の根幹からの再編を行いました。

純粋持株会社であったコニカミノルタホールディングス

が、事業会社や共通機能会社などグループ7社を吸収合併し、グループの経営とあわせて直接事業を運営する会社に移行しました。

これに伴い、社名も「コニカミノルタ株式会社」と改め、本年4月から新たなスタートを切りました。

今回の再編の目的は、大きくは以下の三点に集約することが出来ます。

第一点は、持株会社とグループ売上高の約7割を占める情報機器の事業会社が一体となることで、同事業の経営力を強化することです。情報機器事業を取り巻く経営環境は以前の様に恵まれたものではありませんが、どのような状況下であろうとも私たちは「持続的な成長」を果たさなければなりません。そのためにも持株会社と事業会社が一体となってこの難局に立ち向かうべきと判断しました。

第二点は、「グループ全体最適」の視点に立って、経営資源をより戦略的・機動的に活用することです。2003年の経営統合時には、分社・持株会社制は有効に機能しましたが、あれから10年の時を経て経営環境も激変する中、「個社最適」の発想や縦割り組織の非効率性等のデメリットが散見される局面も出て来ました。今後は、経営資源を最も注力すべき分野に集中させ、更なる成長促進を図っていきます。

そして第三点は、社内カンパニー制を採用することにより分社体制の利点を残しつつ、機能分散による組織力の低下を是正し、コーポレート機能を強化し、効率的な事業支援体制を構築することです。今回の再編によって、各カンパニーは、本来の組織使命である事業の成長・拡大にエネルギーを集中することが可能となりました。

今年度は中期経営計画「Gプラン2013」の最終年度にあたります。この新経営体制の下、掲げた3つの基本方針「成長の実現による規模の拡大」、「『真のグローバル企業』への進化」、「『コニカミノルタ』ブランドの認知度向上」を着実に推進し、目指すべき企業像である、「足腰のしっかりした、力強く成長を続ける企業」、「社会に支持され、必要とされる企業」の実現に向けて着実な歩みを進めていきます。

スシーン、ライフシーンに感動をもたらす、新たな価値を生み出していきたいと考えています。

当社グループは、経営理念に根差した志の下、日々の企業活動を通じてコニカミノルタならではの「新しい価値」を創造し、お客様にご提供することによって、より質の高い社会の実現を目指していきます。

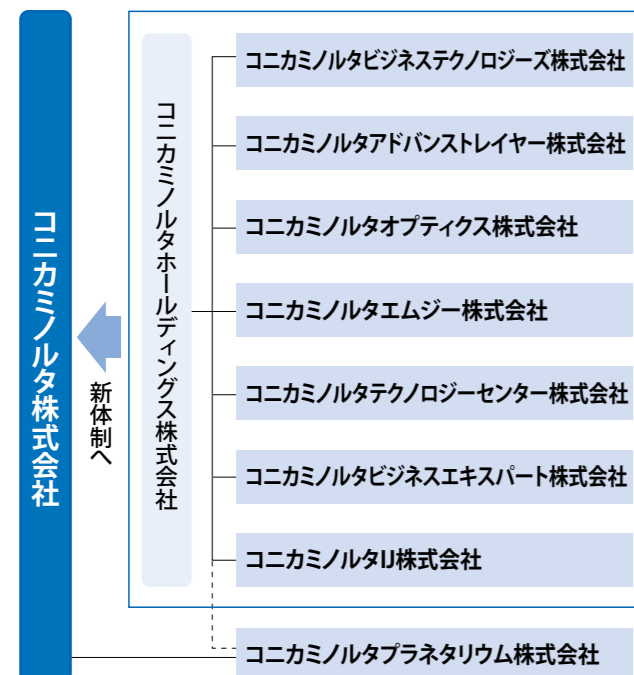
コニカミノルタ株式会社
代表執行役社長

松崎 正年

経営理念「新しい価値の創造」と コミュニケーションメッセージ 「Giving Shape to Ideas」

私たちは、お客様や社会にとって価値のある製品・サービスとは何かを追求する先に、コニカミノルタの未来と成長があると考えています。そして「お客様の求める“価値”を創造する」という私たちの志を広く世界中に発信し、さまざまな地域、さまざまな分野のお客様とコミュニケーションを深めることが不可欠であると考えています。お客様や社会と課題を共有し、その解決に貢献できる“アイデア (Ideas)”を具体的な“カタチ (Shape)”にしていく——こうした想いを表現し、その実行を世界中のお客様にコミットメント＝お約束したものを、それが我々のコミュニケーションメッセージ「Giving Shape to Ideas:革新はあなたのために。」です。ここで言う“革新”とは、コニカミノルタグループが培ってきた独自の技術を始め、問題解決力、生産性向上など、社員一人ひとりの日常的な取り組みや創意工夫のすべてを意味します。私たちが生み出す“革新”で、お客様の想いや願いを一つひとつ実現し、世界のビジネ

グループ経営体制再編図



新たな価値の創造に挑む、コニカミノルタ

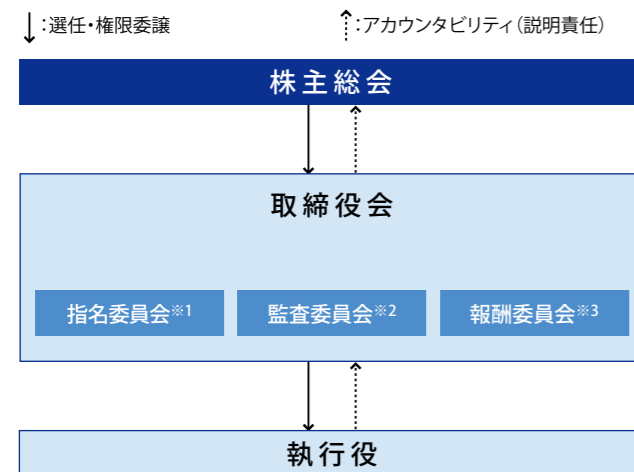
コニカミノルタは、情報機器事業を中核として、産業用材料・機器事業や医療業界のデジタル化に貢献するヘルスケア事業など社会のニーズに応える商品・サービスを提供しています。お客様に感動を提供する革新的な企業をめざして、新たな価値を創造していきます。

本社所在地 東京都千代田区丸の内2-7-2
代表者 代表執行役社長 松崎正年
設立 1936年12月22日
資本金 375億19百万円(2013年3月末現在)
連結売上高 7,679億円(2011年度)
決算期 3月31日
従業員数 単体:約 6,700名(2013年4月推定※)
 連結:約41,500名(2012年12月現在)

※コニカミノルタ(株)として統合された、コニカミノルタホールディングス(株)をはじめとする8社の2012年12月時点での従業員数の合計

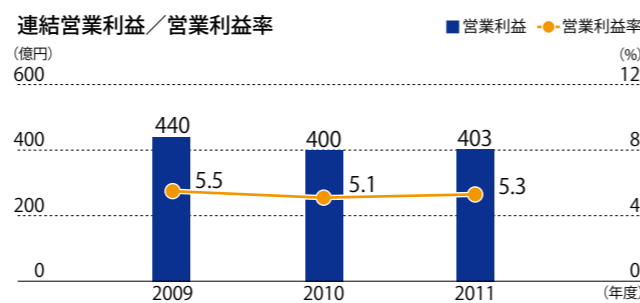
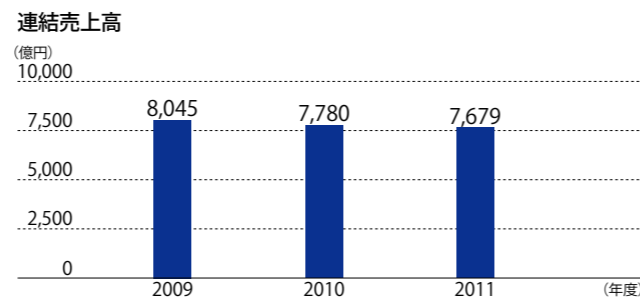
コーポレートガバナンス体制

取締役会に指名・監査・報酬の3つの委員会を置く「委員会設置会社」形態により、経営の監督と執行の機能を分離し、経営の透明性・健全性・効率性の向上とともに、意思決定の迅速化を図っています。

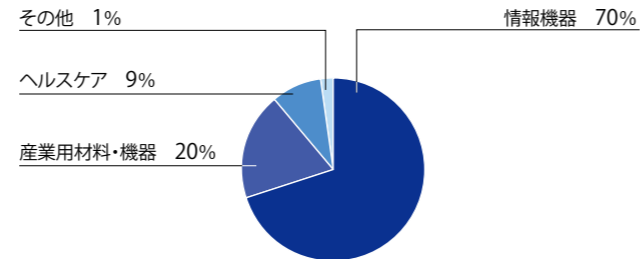


※1 指名委員会:取締役候補者の指名
 ※2 監査委員会:取締役・執行役の職務執行の監査
 ※3 報酬委員会:取締役・執行役の報酬の決定

主要データ

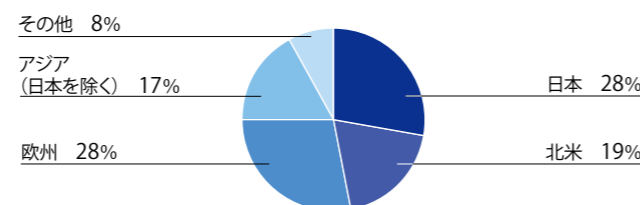


事業セグメント別売上高構成比 (2012年度第3四半期累計※)



※2012年4月1日～12月31日での値。「その他」の区分には、産業用インクジェット事業を含んでいます。

地域別売上高構成比 (2011年度)



情報機器事業

ビジネスソリューション

- 複合機 (MFP)
- レーザープリンター
- ファイリング機器
- ファクシミリ
- ソフトウェア・周辺機器



プロダクションプリント

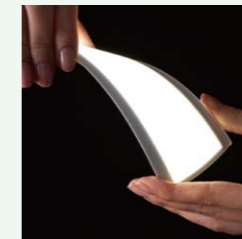
- デジタル印刷システム
- デジタル色校正システム
- CTP (印刷用プレート)
- リモート色管理システム
- RGBワークフロー
- プリプレス生産システム



産業用材料・機器事業

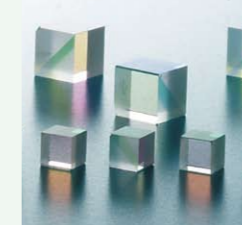
機能材料

- 液晶偏光板用TACフィルム
- 視野角拡大用VA-TACフィルム
- ガラス乾板
- バリアフィルム
- 機能性ウィンドウフィルム
- 有機EL照明



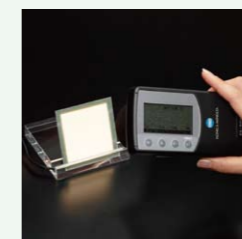
光学デバイス

- マイクロカメラモジュール
- レンズユニット
- 光ディスク用ピックアップレンズ
- ピックアップ用プリズム
- HDD用ガラス基板



計測機器

- 分光測色計、色彩色差計
- 照度計、色彩輝度計
- 分光放射輝度計
- 非接触3次元デジタルタイザー
- バルスオキシメーター
- 太陽電池評価装置 ● 分光器



産業用インクジェット

- インクジェットヘッド
- インクジェットテキスタイルプリンター
- インクジェットプリントユニット
- インクジェットインク



ヘルスケア事業

- デジタルX線画像診断システム (CR・DR)
- デジタルマンモグラフィー
- 超音波画像診断装置
- 医療用画像ファイリングシステム
- 医療用画像オールインワンシステム
- 医療用経営支援サービス
- 診断用医薬品



プラネタリウム事業

- 光学式プラネタリウム
- 全天周デジタル映像システム
- ドームスクリーン
- デジタルドーム映像
- プラネタリウム施設の運営



オフィス環境の“最適化”を実現する ビジネスソリューションを

運用・管理コストの削減、ワークフローの合理化・効率化、
グローバルビジネスへの対応、環境負荷の低減、情報セキュリティの強化…
企業を取り巻く事業環境の変化を背景に、オフィス運営に求められる要件が、
これまで以上に高度化、多様化しつつあります。

こうしたなか、コニカミノルタは、「TCO[※]の削減」と「生産性の向上」を重点テーマに
お客様のオフィス環境を“最適化”するトータルなビジネスソリューションを提供しています。

※ TCO (Total Cost of Ownership=総保有コスト) : 設備の導入(インシヤルコスト)から維持・管理などにかかる費用(ランニングコスト)までの総額。



Products

オフィスの課題解決に貢献する 高機能な製品をラインアップ

デジタル・ネットワーク化の進展を背景に、複合機やプリンターなどの情報機器は、日々のオフィスワークを支える重要なインフラとして存在感を高めています。コニカミノルタの複合機「bizhub (ビズハブ)」は、業務効率化、コスト削減や環境負荷低減、セキュリティ強化など、お客様のオフィスにおける課題解決のためのさまざまな機能を搭載しています。



カラー複合機
「bizhub C754」



カラーレーザープリンター
「magicolor 1650EN」

Office Support

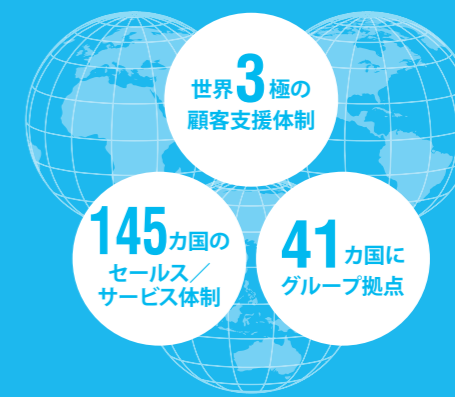
オフィス環境の継続的改善を支援

コニカミノルタは、複合機やプリンターなどの情報機器の提供に止まらない、多彩なサービスを提供しています。情報機器の多様な機能と文書管理アプリケーションを組み合わせ、ドキュメント管理を支援する「ドキュメントマネジメント」から、ネットワーク化が進むオフィスのIT課題を解決する「ITサポート」、さらには情報機器の最適配置などを提案する「オフィス環境エンジニアリング」まで、多角的なサービスの提供を通じて、お客様のオフィスの最適化を支援。お客様を取り巻くビジネス環境の変化に柔軟に対応し、オフィスを常に“最適”な状態に保つために、継続的な改善をサポートしています。

Global Support

“Think Global, Act Local”をキーワードに、グローバル経営を強力にサポート

コニカミノルタは、“Think Global, Act Local”をキーワードに、グローバル企業のオフィス運営・管理を多角的にサポートしています。世界41か国にグループ拠点を置き、145か国でのセールス/サービス体制を実現。国や地域によって異なる「オフィスのニーズ」に応える多彩な製品と細やかなサービスを提供しています。また、世界各地のオフィスで使用される情報機器の運用管理を一括受託し、ネットワーク上で集中管理することで企業内のプリント出力環境の“全体最適”を目指すサービス「グローバルOPS (Optimized Print Services) プログラム」の提供を開始するなど、合理的・効率的なオフィス環境づくりを通じて、グローバル経営を強力にサポートしています。



新しい時代へ、新しいオフィス環境を

Business Solution 1 クラウド活用が加速するなかで

iPhone/Androidスマートフォン・タブレット端末との連携アプリケーションを提供しより柔軟で、効率的なワークスタイルを実現

近年では、スマートフォンに代表されるモバイル端末の急速な普及と、クラウドコンピューティングの本格化を背景に、固定席をもたないフリーアドレスや在宅勤務、リモートオフィスなど、多様な働き方が広がっています。コニカミノルタは、これら新たなワークスタイルを支援するため、ビジネス現場でも活用が進むiPhone®/iPad™/iPod touch®やAndroid™端末と複合機「bizhub」シリーズの連携を実現する「PageScope Mobile (ページスコープモバイル)」を提供しています。

このアプリケーションを利用することで、文書データや画像、Webページをモバイル端末からダイレクトに出力したり、「bizhub」でスキャンしたデータをモバイル端末に取り込むことが可能になります。さらに、クラウドコンピューティングとの連携により、出張先や自宅からでもドキュメントや画像の閲覧、プリント指示、スキャンデータの取り込みも可能になるなど、柔軟で効率性の高いワークスタイルを実現。「bizhub」の認証機能に対応した高いセキュリティも確保しています。

bizhubとスマートフォンやタブレット端末との連携



iPhone、iPad、iPod touchはApple Inc.の商標です。Android、GoogleドキュメントはGoogle Inc.の商標です。

Business Solution 2 ビジネスのグローバル化が進展するなかで

グローバル企業のプリント環境を最適化する「Optimized Print Services」

世界中に拠点をもつグローバル企業にとって、各オフィスで使用する複合機やプリンターなど情報機器の運用に関して、生産性や業務効率を下げずに業務負荷やコストの削減を実現することが、重要な経営課題となっています。こうしたニーズに応えるため、コニカミノルタは、情報機器の最適配置や稼働率の向上などを実現する、プリント環境最適化ソリューション「Optimized Print Services (OPS)」を全世界統一のサービスとして提供。世界中のオフィスで使用されている情報機器をネットワークで集中管理し、稼働データをモニタリングしながら、オフィスごとの課題を明らかにし、最適化を実践しています。

すでに各分野のグローバル企業から、情報機器の提供および運用・管理を一括で請け負う大規模契約を締結するなど、世界各地で注目が高まっています。



OPSのサービスフロー



Business Solution 3 環境経営が求められるなかで

省エネや省資源化など高い環境性能を備えた複合機の開発に注力

コニカミノルタは、これまで培ってきた環境配慮設計のノウハウを活かして、利便性や生産性を向上させながら省エネや省資源化を実現する複合機を提供しています。

例えば省エネについては、複合機本体の低消費電力化はもちろん、お客様に使用いただく際の省エネ支援として、操作パネル上に電力やトナー、用紙などの節約指標をグラフ表示する「ECO指標表示」を採用しています。省資源化については、先進的な材料技術を駆使して、再生PC(ポリカーボネート)と再生PET樹脂を複合した独自素材「再生PC/PET」を開発。リサイクル素材でありながら優れた耐久性を実現し、複合機の外装材として採用を進めています。

今後もこうした環境技術を活かして、ビジネスの強化と環境配慮の両立を追求していきます。



Products

クラウド社会と持続可能社会を見据えた新時代の複合機「bizhub C554」シリーズ

コニカミノルタが2012年6月に発売した「bizhub C554」シリーズは、クラウド・モバイルを使用した新しい働き方を促進するアプリケーション「PageScope Mobile」と連携することが可能で、「再生PC/PET」「ECO指標表示」といった環境配慮機能を採用した新時代の複合機です。快適性と環境性能を高いレベルで両立したこのシリーズを展開することで、多くのお客様の持続的かつ多様な価値の向上に貢献しています。



より速く、より美しく、そしてより安定に デジタル印刷の“新たな可能性”を創造する

アナログから、デジタルへ――

テクノロジーの進化は、印刷の現場に大きな革新をもたらし

世界中でデジタル印刷への需要が顕在化しています。

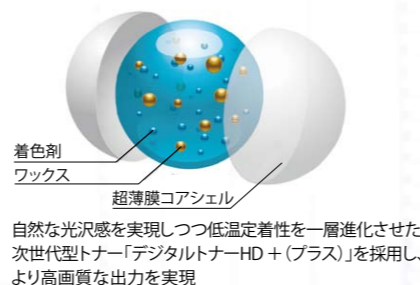
より速く、より美しく、そしてより安定したデジタル印刷の実現を目指して、コニカミノルタは、独自のデジタル印刷技術と幅広い製品ラインアップ、そしてグローバルなサポート体制をベースにお客様満足を追求しています。

■ Key Technologies

デジタル印刷に、高い生産性と画像安定性をもたらす先進技術

デジタル印刷は、小ロット印刷や短納期印刷、バリエーション印刷※への対応などのメリットがある反面、オフセット印刷などのアナログ印刷に比べて、画像安定性や大量印刷時の生産性・信頼性に課題がありました。コニカミノルタでは独自の「材料技術」と「設計技術」、「画像処理技術」を融合し、これらの課題を克服。先進的な技術開発を通じてデジタル印刷の可能性を大きく広げています。

※ バリエーション印刷：ダイレクトメールの宛名印刷など、1枚ずつ内容の異なるデータを出力する印刷。



自然な光沢感を実現しつつ低温定着性を一層進化させた次世代型トナー「デジタルトナーHD+(プラス)」を採用し、より高画質な出力を実現

■ オフセット印刷で活躍する「デジタル色校正システム」

デジタル色校正のデファクトスタンダードとして印刷業界に定着

これまで再現の難しかった印刷の“質感”というアナログ領域までも忠実に再現する「デジタル色校正システム」により、完全デジタルワークフローの稼働環境をご提供し、印刷現場の効率化と信頼性の向上に貢献しています。また、校正紙の出力工程を最小限の資材で実現することで、環境負荷の低減にも寄与します。



デジタル色校正システム
「Digital Konsensus Premium」

デジタル印刷システム
「bizhub PRESS C8000」

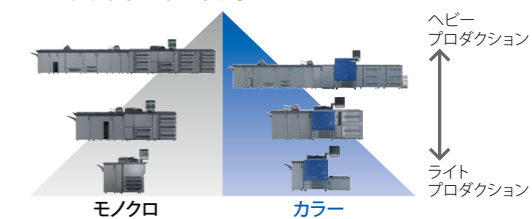
■ Products

高度化・多様化するお客様ニーズに柔軟に応える多彩な製品ラインアップ

コニカミノルタは、モノクロ/カラーの両分野で、幅広い製品をラインアップ。お客様ごとに異なる用途や目的を踏まえて、求められる品質や印刷量、紙種、後加工機能などに応じた最適な製品を提供しています。



プロダクトポートフォリオ



モノクロ

カラー

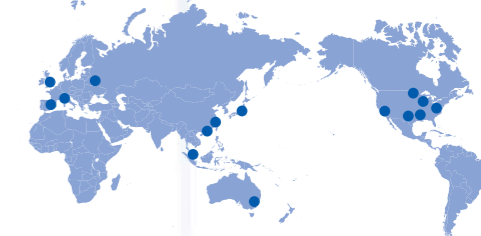
ヘビー
プロダクション
↑
↓
ライト
プロダクション

■ Service & Support

世界各地のデジタル印刷ニーズにフレキシブルに応える「サービス&サポートネットワーク」

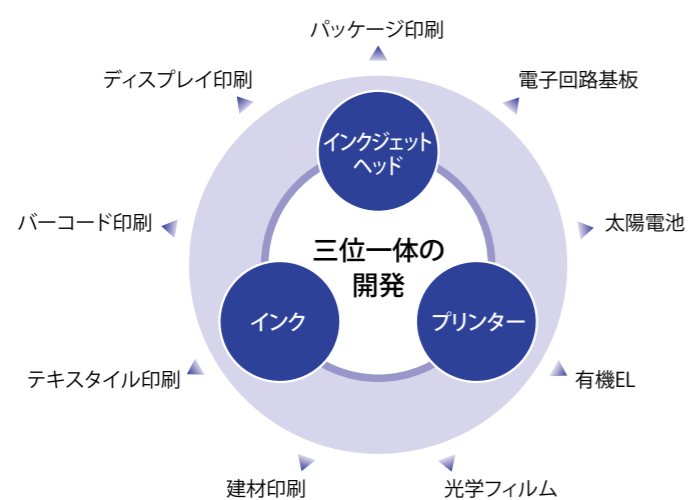
ビジネスのグローバル化が進むなか、コニカミノルタは日本、北米、欧州、アジア、南米など、各地域のデジタル印刷ニーズに応えるため、世界各地の15カ所に「デジタルイメージングスクエア (DIS)」を設置。先端のデジタル印刷システムの出力状況を実際にご覧いただきながら、市場特性を踏まえ、お客様ごとに異なる要望にフレキシブルに対応しています。さらに高いスキルをもつ専門のサービス技術者により、導入後も確かなサポートを提供します。

世界各地に展開するDIS



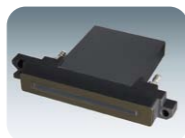
産業用インクジェット技術の可能性を広げ、幅広い産業分野にイノベーションを

材料技術をベースとしたインク、精密加工技術を駆使したインクジェットヘッド、そして搬送制御などのプリンティング技術を活かしたプリンター。コニカミノルタは、多彩な技術を結集した開発体制により、小液滴化、高速化、高駆動効率化、高画質化、低電力消費化など、産業用インクジェット市場におけるさまざまなイノベーションを実現。溶剤系インクだけでなく、環境に配慮した水系インク、さらに、各種の薬液など、幅広いインクに対応することで、産業用インクジェットの活用範囲を拡大しています。



例えば、大型のサインボードへのプリントを効率的に

経済発展が著しい中国などを中心に、看板や屋外ディスプレイなどを制作するための大判インクジェットプリンターの需要が拡大しています。こうした大判プリントでは、画質を維持しつつ、いかに効率的にプリントするかが重要になります。コニカミノルタの産業用インクジェットは、ノズルの高密度化と印字幅の拡大によって生産性を高めるとともに、プリンターの消費電力削減にも貢献。優れた機能と品質が認められ、屋外用大判インクジェットプリンター用のヘッドとしてトップシェアを獲得しています。



インクジェットヘッド「KM1024」



例えば、バーコードなど可変データの印刷をスピーディーに

印刷フィルムなどの版を作ることなく、デジタルデータを高速で印字できるインクジェットは、バーコードなど可変データの印刷に最適です。コニカミノルタは、耐光性に優れたUVインクや、高精度なインクジェットヘッド、擦れや汚れのないプリントユニットと、多彩で高度な要素技術を結集して、可変印刷の分野で高い評価を獲得しています。

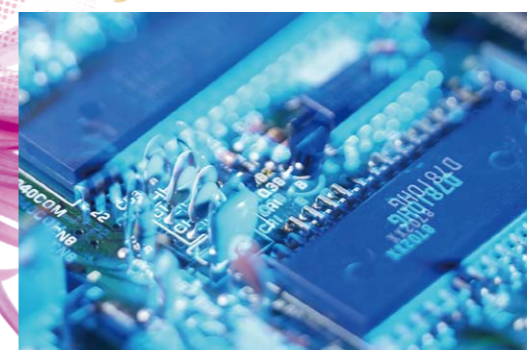


例えば、環境にやさしいテキスタイルプリントを、より速く、美しく

産業用インクジェットの対応領域は、テキスタイルの分野にも広がっています。従来のスクリーン捺染によるプリント加工と違い、型版を作ったり染料を調合する必要がないため、環境負荷を大幅に低減できます。この特性から、特に多品種・小ロット生産においては革新的な捺染法として脚光を浴びています。コニカミノルタのテキスタイルプリンターは、小液滴・高密度な多ノズルインクジェットヘッドにより、業界最速クラスのスピードで、滑らかなグラデーションや微妙な色調を再現できます。

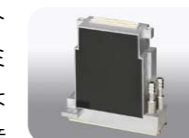


インクジェットテキスタイルプリンター「ナッセンジャーPRO1000」



例えば、電子回路基板の精密な回路プリントを

インクジェットは、ヘッドがプリント面に接することなく、精密で高速なプリントが行えるため、電子回路の配線形成や、液晶パネル用カラーフィルターの印刷、太陽電池のレジスト成膜など、エレクトロニクス分野でも期待が高まっています。コニカミノルタでは、各種インク、多様な薬液に対応可能なインクジェットヘッドを開発し、エレクトロニクス産業の生産効率向上に貢献します。



インクジェットヘッド「KM512」

「材料技術」と「製膜技術」を結集し、 産業・社会の期待に応える新たな“機能”を創造する

有機化学合成や組成設計など、独自の高性能材料を生み出す「材料技術」と、塗布や蒸着など、幅広い手法で微細な薄膜を加工する「製膜技術」。コニカミノルタが蓄積してきたこのコア技術を活かして、保護、遮熱、遮水、偏光、発光など、産業・社会で求められるさまざまな機能を備えたフィルム材料などの提供を通じて新しい時代の豊かな社会づくりに貢献していきます。

For Displays



テレビやパソコン、スマートフォンなどに幅広く利用されている液晶ディスプレイ。その偏光板を保護する「TACフィルム」に加え、視野角拡大機能を付与した「VA-TACフィルム」など付加価値を高めた製品を提案しています。

液晶偏光板用TACフィルム
視野角拡大用VA-TACフィルム



For Mobile Displays



スマートフォン、タブレットPC、ウルトラブックなどの次世代型モバイルディスプレイには、軽くて薄く、割れないプラスチック基板が用いられたフレキシブルデバイスが求められています。高いバリア特性と柔軟性を兼ね備えた「ハイバリアフィルム」は、フレキシブルデバイスの高品質化に貢献します。

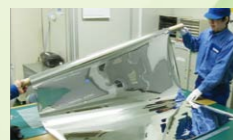
バリアフィルム



Technology

材料技術を駆使して、 太陽熱発電システム用フィルムミラーを開発

集光型太陽熱発電とは、多数の鏡で反射・集中した太陽光を熱源とする発電システムです。直射日光の豊富な砂漠などに設置されるため、システムの核となるフィルムミラーには、過酷な環境下でも反射性能を維持することが求められます。コニカミノルタは、培ってきた高度な材料技術を駆使して、高い反射性能と優れた耐久性をもつ「フィルムミラー」を開発。今後は事業化を加速し、太陽熱発電の普及と発展に貢献していきます。



フィルムミラー



集光型太陽熱発電

For Lighting

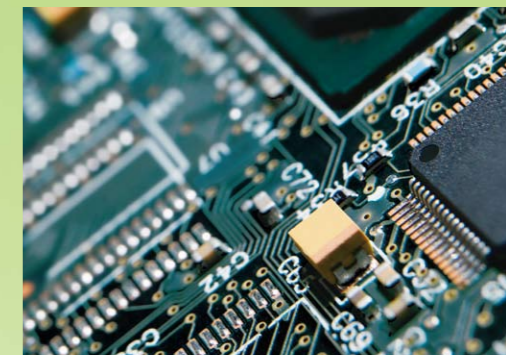


「有機EL照明」は高い発光効率、面光源、重金属フリーなどの特性から次世代照明として期待されています。コニカミノルタは独自の「青色りん光発光材料」を開発し、世界で初めて全りん光材料を使用した有機ELパネルを商品化しました。目に優しく、環境負荷の少ない照明として、今後さらなる実用化を目指しています。

有機EL照明

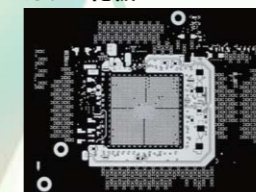


For Electronics



半導体デバイスのさらなる微細化には、回路パターンを光学的に再現するフォトファブ리케이션技術が不可欠です。コニカミノルタは長年培った写真感光材料技術を用いて、フォトファブ리케이션用マスク材料として最適な、高品質で高い再現性を実現する「ガラス乾板」を提供しています。

ガラス乾板



For Building



建築用窓ガラスに貼り付ける「機能性ウィンドウフィルム」として、遮熱、遮熱+防汚、防汚、飛散防止の4タイプをラインアップ。優れた遮熱性により、室内での冷暖房の使用を抑えることで、大きな省エネ効果をもたらします。

材料合成技術

Core Technologies

製膜・コーティング技術

材料設計技術

機能性ウィンドウフィルム



For Automobiles



絶対的な安全性が求められる自動車用ガラス向けにも「ウィンドウフィルム」を提供しています。高い赤外線反射率により車内の高温化を防ぐとともに、優れた電磁波透過性によりETCなどの車載通信端末の機能を妨げません。

世界最先端の 光の技術が拓く、未来



Business Fields

Technologies

光を自在に操る 世界トップレベルの技術

コニカミノルタは、光学技術や材料技術をはじめ、微細加工技術や画像技術、さらにはコーティング技術、精密駆動技術など、多彩な技術を高次元で融合することで、世界最先端の“光の技術”を確立。光を自在にコントロールすることで、他社にはまねできない高付加価値なモノづくりを可能にし、光学デバイス分野で独自のプレゼンスを確立してきました。これからも、光を操るエキスパートとして、世界トップの技術をお客様に提供し続けます。

コニカミノルタのモノづくりの源流と言えるのが、カメラやレンズなどの開発・製造を通じて蓄積してきた“光の技術”です。光を感じる、集める、導く——光を操るエキスパートとして、数多くの画期的な製品を創造してきた歩みのなかで、たゆまず磨き続けてきたその技術が、今、さまざまな産業界に革新をもたらす製品に結実しています。

Products & Business Fields

最先端の技術に「カタチ」を与え、 新たな領域を次々と拓く

コニカミノルタは、光にまつわる多様かつ先進的な技術を活かして、デジタルエレクトロニクス機器の進化を支える独創的な光学製品を生み出してきました。現在、その製品領域は、世界市場で圧倒的なシェアを誇る光ディスク用ピックアップレンズをはじめ、HDD用ガラス基板、マイクロカメラモジュールなど、多岐にわたっています。今後も、「世界最強の光学デバイスサプライヤー」を目指して、より広範な領域で新たな“価値”を創造していきます。

ものづくりの品質を支える 色と光の計測技術を

“光を測る／光で測る”技術をベースに、さまざまな産業分野で用いられる計測機器を開発。性能や品質を測定・評価するための基準となる、いわば“モノサシ”を提供することで、研究開発から生産まで、ものづくりの現場を支えています。



太陽光発電へ

太陽電池の性能評価には「擬似太陽光」が用いられますが、その光量がまちまちでは、正しい評価は得られません。コニカミノルタは、擬似太陽光の光量を設定するための「基準太陽電池セル」を開発し、太陽光発電の普及促進に貢献しています。



ReferencePVCellAK-300

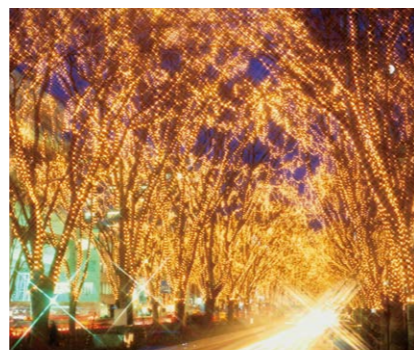


農業へ

葉に含まれる葉緑素の量を計測することで、植物の栄養状態を把握できます。コニカミノルタは携帯に便利なハンディタイプの葉緑素計を開発し、稲作をはじめとする農業分野においてロングセラーとなっています。



SPAD-502Plus



次世代照明へ

コニカミノルタは照度（明るさ）だけでなく、光の色あいや演色性も計測できる照度計を開発。LED照明や有機EL照明の開発・生産や照明デザインの現場で役立っています。



CL-500A

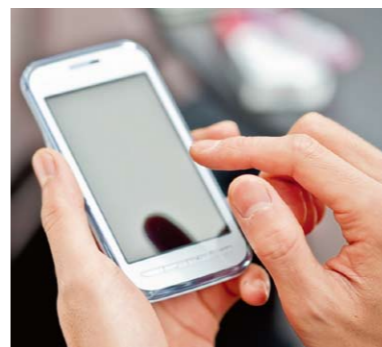


自動車へ

自動車外装のメタリック、パール塗装や、内装に使用されている樹脂成形品など、さまざまな色測定のためのラインアップをそろえ、品質向上に貢献しています。



CM-700d



ディスプレイへ

スマートフォンから大型テレビまで、ディスプレイの色、明るさの測定に、コニカミノルタの計測機器が業界標準として使用されており、ディスプレイの性能向上に貢献しています。



CS-2000A



食品へ

食品分野において重要度が増す色管理。コニカミノルタは小型・軽量・ワイヤレスで操作性に優れた分光測色計を開発。製造現場から品質検査まで、さまざまな場面で正確な色測定に活躍しています。



CM-5

医療のデジタル化・ネットワーク化を支え、診断サービスの向上へ

日本におけるレントゲンフィルムのパイオニアとして、医療診断用画像技術をコアに、医療現場のニーズに応える製品・サービスを提供してきたコニカミノルタ。近年では、医療のデジタル化・ネットワーク化に寄与する機器やシステム、ITサービスをトータルに提供することで、より迅速、確実な診断サービスの実現に貢献しています。

Products

確かな診断結果をもたらすデジタル画像診断システム

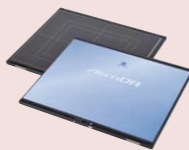
コニカミノルタは、X線画像診断システムを中心に、マンモグラフィー、超音波画像診断装置など、先進的な診断システムを通じて、画像診断のデジタル化を牽引。高精細かつ高精度な診断画像を効率的に提供することで、医療診断の精度向上やスピードアップ、受診者の負担軽減に貢献しています。

主要製品

- デジタルX線画像診断システム (CR, DR)
- デジタルマンモグラフィー
- 超音波画像診断装置
- 診断用医薬品

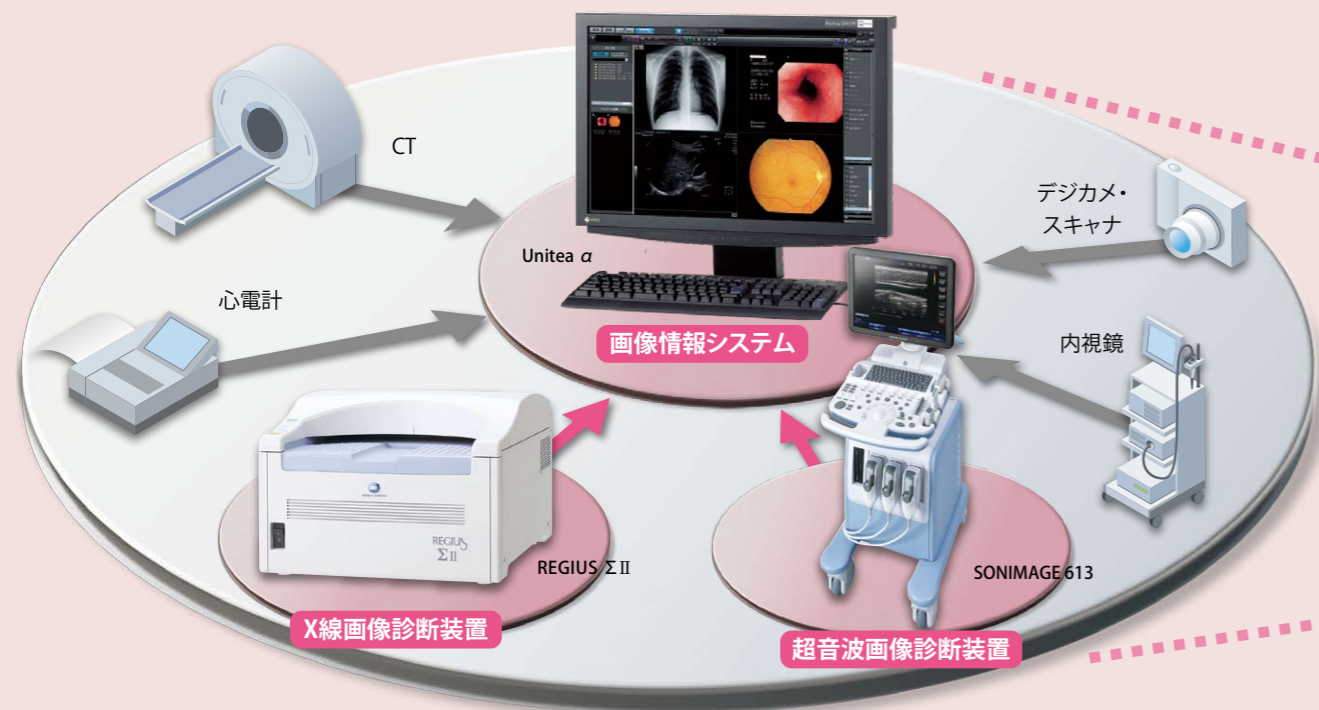


卓上型CR装置「REGIUS Σ II」



カセット型デジタルX線撮影装置「AeroDR」

Digital Imaging System

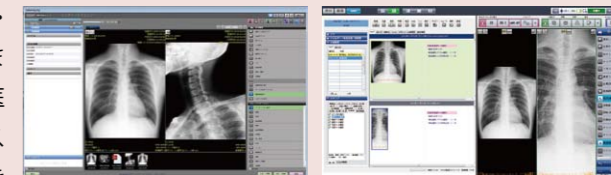


Products

Digital Imaging System

デジタル医療用画像データの管理・活用を効率化し、診断業務をサポートする医療画像情報システム

医療用画像のデジタル化は、データ保存・管理の効率向上に加え、拡大・縮小や階調処理などによる診断精度の向上など、医療診断の現場にさまざまな革新をもたらします。こうした診断画像の保存・加工を担うのが、医療用画像情報システムです。コニカミノルタは、X線画像はもちろん、CTスキャンや内視鏡など他社製品での撮影画像も含めてトータルに管理できるシステムを提供。医療用画像の効率的で効果的な活用を実現します。



主なシステム

- 医療用画像ファイリングシステム「I-PACS, I-PACS EX」
- 医療用画像オールインワンシステム「Unitea α」
- 医療画像診断ワークステーション
- 医療用経営支援サービス「infomity」

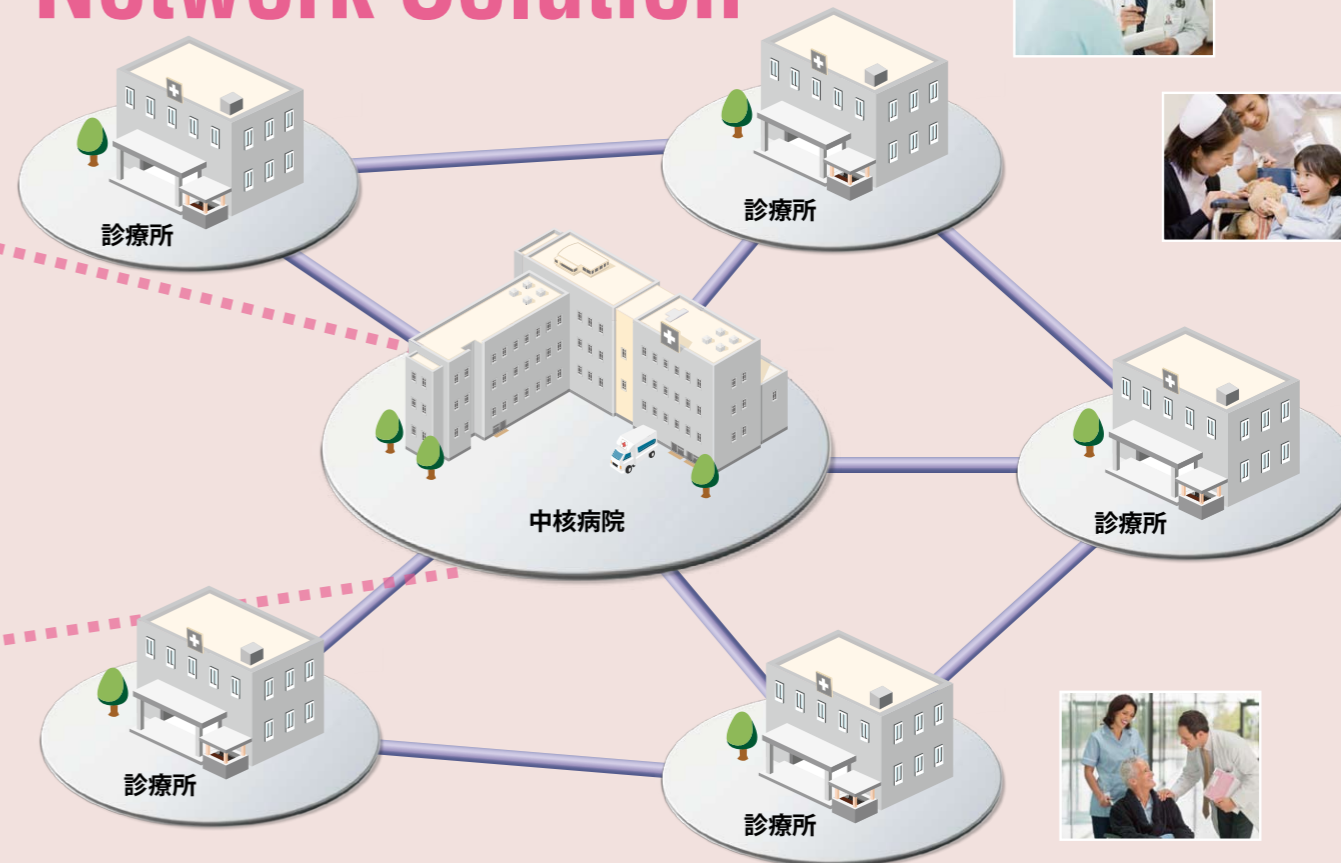
Network Solution

医療情報のクラウド化を視野に入れたネットワークサービス「infomity」

医療現場におけるデジタル化の進展とともに、ネットワークを活用した医療ITサービスへの期待が高まっています。コニカミノルタは、こうしたニーズを先取りし、診断機器の遠隔サポートや、病院間での情報共有サポート、医療行政ニュースの配信など、医療機関のネットワーク化を支援するトータルサービス「infomity (インフォミティ)」を提供。医療業務のさらなる効率化、高度化に貢献しています。



Network Solution



医療ニーズの高度化とともに進化する コニカミノルタの画像診断技術

Products

高精度かつフレキシブルな最先端のデジタルX線撮影装置「AeroDR」

DR(デジタルラジオグラフィ)は、フィルム撮影に比べてX線被曝量を低減できるだけでなく、より高精度な画像を撮影後すぐに表示できます。しかし、従来のDRは重量が重く、電源とデータ送信用ケーブルが必要など、作業性が課題でした。

コニカミノルタが開発した「AeroDR(エアロディーアール)」は、徹底した軽量化とデータ送信のワイヤレス化により、これまでのDRの課題であった撮影時の作業性を改善。DRの普及に貢献します。

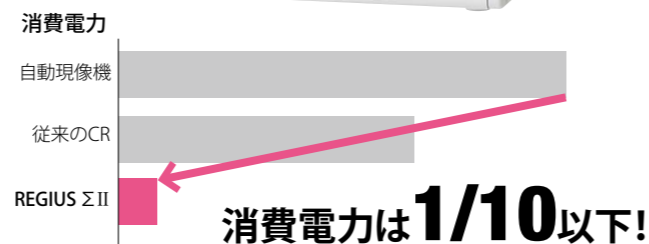


Products

消費電力を10分の1に抑えた新世代のCR「REGIUS Σ II」

医療のIT化が加速するなか、街のクリニックでもX線撮影をデジタル化したいという要望が高まっています。コニカミノルタではこれに応え、コンパクトで軽量のクリニック向け卓上型CR装置「REGIUS(レジウス)Σ II」を開発しました。

スタンバイ時の動作音は0dBで、診察室に置いても診察行為の妨げになりません。また、消費電力はわずか100VAとアナログ自動現像機に比べ約1/10以下に抑えられており、節電と地球温暖化防止に役立つ環境に配慮した製品です。



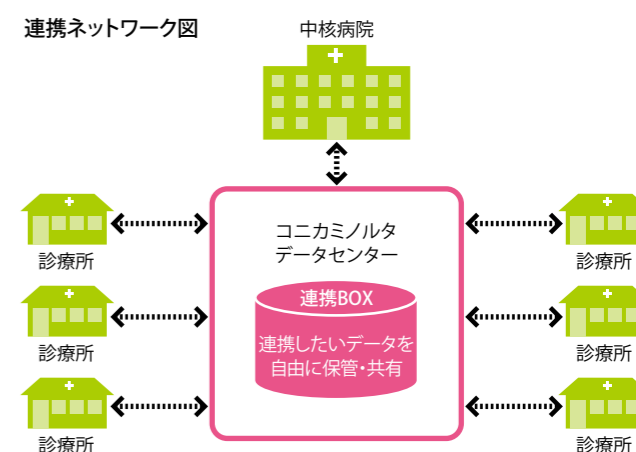
Network Service

医療情報を共有できる「連携BOXサービス」で病院間での連携をサポート

コニカミノルタは、医療機関向けネットワークサービス「infomity」の一環として、複数の医療機関で撮影画像や検体データ、レポート内容などの診察情報を共有できる「連携BOXサービス」を提供しています。

これにより、専門医を擁する大規模病院と地域の診療所との医療連携が実現できるほか、専門分野の異なる複数の医師が同じ画像を見ながらの意見交換も可能になります。地域連携の一例としては、青森県で地域の中核病院を中心に9医療機関で導入いただいており、専門医が遠隔からタイムリーな判断を下すことで、緊急を要する脳疾患などの救急医療に役立てられています。

連携ネットワーク図



New Technology

産学連携による研究で革新的な 「高感度X線撮影装置」の開発を推進

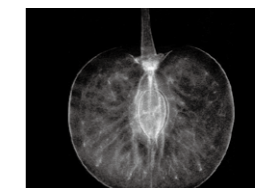
コニカミノルタは、大学や公的研究機関などの連携による研究開発を積極的に推進しています。例えば近年では、東京大学や兵庫県立大学などとの連携プロジェクトとして、X線の屈折を利用した革新的なX線撮影装置の開発に取り組んでいます。この装置は、「タルボ・ロー干渉計」という原理を利用して、従来と比べて約1,000倍も高感度なX線撮影を実現するもの。これにより、これまで難しかったごく初期の乳がんや、リウマチによる軟骨の異常などを検出することが期待されます。



被写体



吸収画像



小角散乱画像



微分位相差画像

写真はさくらんぼの撮影サンプル。一回の撮影で、従来のX線写真に類似した画像(右上)を含む、3種類のデータを得られる。

デジタルラジオグラフィ AeroDR SYSTEM 業事認証番号 222AIBZX00035000
Regius PureView タイプM 業事認証番号 220ADBZX00026000
画像診断ワークステーション REGIUS Unitea 業事承認番号 21900BZX00854000

ダイレクトディジタイザー REGIUS SIGMA2 業事認証番号 224AIBZX00015000
カラー超音波診断装置 SONIMAGE 613 業事認証番号 223AABZX00009000
画像診断ワークステーション NEOVISTA I-PACS EX 業事承認番号 21800BZX10168000

美しい星空による感動を 最先端の技術と多様なノウハウで

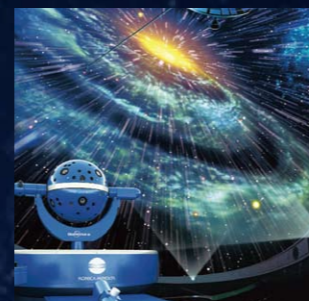
美しい星空を見上げた瞬間の感動や喜びを、より多くの方々に味わっていただくために——
 投映機器の開発・製造から、コンテンツ制作、施設の建設・運営までを
 トータルに手がけるプラネタリウムの総合メーカーとして、
 常に新しい魅力を創造し、発信しています。

- 光学式
プラネタリウム
- 全天周
デジタル映像システム
- プラネタリウム番組
- 全天周実写/CG
- ショートピース



高機能・高性能で操作性に優れた投映機器

日本に初めてプラネタリウムが設置されたのは、1937年のこと。それから20年後の1957年、国産初のプラネタリウムを完成させたのが、現在のコニカミノルタです。以来、世界でも数少ないプラネタリウムメーカーとして、機器の高機能化・高性能化を追求。1997年には、光学式とデジタル式の両投映システムを同時に制御する、世界初の統合型プラネタリウム「GEMINISTAR (ジェミニスター)」を開発するなど、プラネタリウムの進化を牽引する存在として、世界から注目を集めています。



GEMINISTAR III

多彩でユニークなオリジナルコンテンツ

最新の天文・科学に基づくコンテンツから、楽しみながら知識を深められるエンターテインメント性の高いコンテンツまで、プラネタリウムをより楽しく、魅力的にするためのオリジナルコンテンツを幅広く制作しています。光学プラネタリウムによる美しい星空に加えて、CG映像によるダイナミックな映像表現を駆使して、季節ごとの星座解説はもちろん、星座のもととなった神話や、子どもに人気のキャラクターを用いたコンテンツなど、季節や客層に応じたバラエティー豊かなラインアップを用意しています。



直営館で培ったノウハウを活かしたトータルサポート

2004年に東京・池袋にオープンした直営館「コニカミノルタプラネタリウム「満天」in Sunshine City」を通じて、お客様にプラネタリウムの新しい楽しみ方を提案。2012年5月には新たな直営館「コニカミノルタプラネタリウム「天空」in 東京スカイツリータウン®」をオープンしました。これら直営館で培ったノウハウを活かして、自治体や企業のプラネタリウム館の設計・建設から運営までをトータルにサポート。訪れる人々に夢と感動をお届けする空間づくりをお手伝いします。



「全天周映像」という新たなエンターテインメント

コニカミノルタは、プラネタリウムで培ったドームスクリーンへの映像投映技術を活かして、観客を360度の映像で包み込む「全天周デジタル映像システム」を全世界で展開。プラネタリウム館のみならず、商業施設やアミューズメント施設などへも、新たなエンターテインメントとしての全天周映像を提案しています。体感アトラクションのようなCG映像や、周囲を包み込むように広がる美しい実写風景など、ドーム投映ならではの臨場感あふれる3次元映像体験をお楽しみいただけます。



凸版印刷株式会社と協働で、文化財デジタルアーカイブの全天周ドームスクリーン投映用のコンテンツ化を進めています。

投映イメージ画像: VR作品「ウズベンスキー大聖堂」
 製作・著作: Moscow Kremlin Museums / TBS / 凸版印刷株式会社

協力: 電通



最先端大型赤外線望遠鏡により銀河の形成と進化の謎を解き明かす観測計画「TAO計画」の全貌を、東京大学の全面協力によって映像化しました。

多彩なコア技術を駆使して、新しい価値の創造へ



次代のニーズを見据え、コア技術を活かした新事業育成を推進

コニカミノルタは、長年にわたり培ってきた4分野12のコア技術をベースに、独自の製品を生み出し、幅広い事業を展開してきました。今後のさらなる成長に向けて、既存事業の製品を進化させるとともに、次代の柱となる新事業の創造・育成にも注力しています。

「環境・エネルギー分野」や「健康・安全安心分野」など、これからの社会が求める分野をターゲットに、要素技術の研鑽に努めるとともに、それらを複合化、融合化することで新たな価値を創造していきます。

コニカミノルタのコア技術体系

コア技術	事業	情報機器	産業用インクジェット	機能材料	光学・計測機器	ヘルスケア	プラネタリウム
材料分野	機能性有機材料合成技術	●		●			
	機能性有機材料設計技術	●	●	●			
	機能性微粒子形成技術	●				●	
	製膜・コーティング技術			●	●	●	
微細加工分野	(精密)成型技術				●		●
	表面加工技術			●	●		●
光学分野	光学設計技術	●		●	●	●	●
	光計測技術				●		
画像分野	画像処理技術	●	●		●	●	●
	(作像)プロセス技術	●	●			●	
	搬送技術	●	●	●		●	
	精密駆動技術	●			●		●

オープンな開発環境で研究者の発想力を高める



東京サイト八王子にある「材料研究開発棟」では、研究者が自由に技術交流できる「シナジーホール」の設置や、ガラス張りの実験室など、研究者の発想力を刺激するオープンな開発環境づくりに努めています。

若手研究者に研鑽と交流の機会を提供



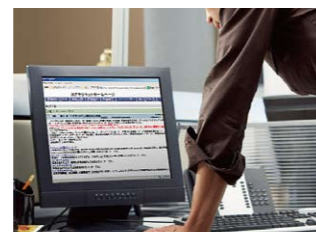
将来を担う技術リーダーを育成することを目的として、若手技術者に次世代の技術テーマを探索する経験や、事業部や専門の枠を超えた交流の機会を設ける「チャレンジ技術者フォーラム」を開催しています。

スピーディーな研究開発を支える分析・評価体制



社内に化学物質や微細構造の分析・評価を自前で行う施設を備えているため、材料分野や微細加工分野におけるスピーディーな研究開発を可能にし、効率的な技術強化につなげています。

イントラネットを通じて技術者間の情報交換を促進



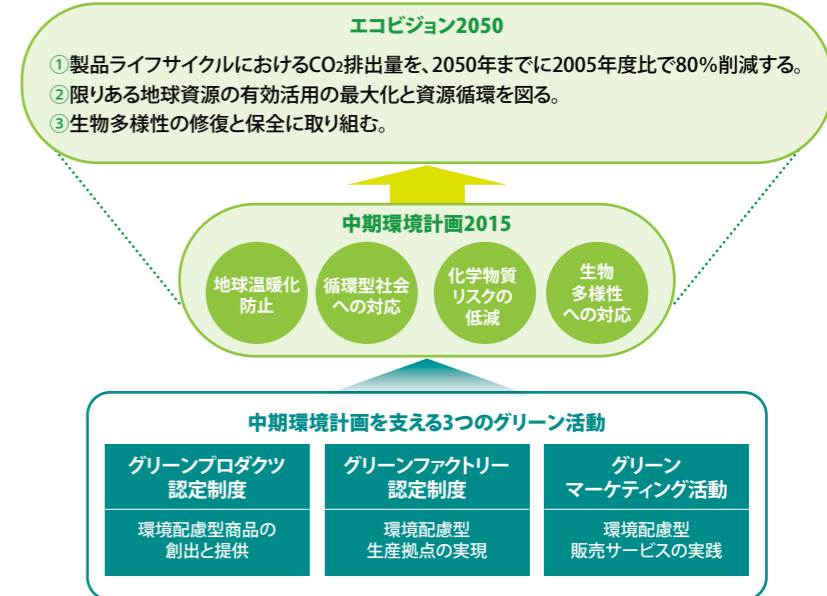
グループ内技術者間の情報交換の場として、技術者向け社内掲示板「コアテックネット」をイントラネット上に開設し、活発な技術交流を実現しています。

環境・社会課題に応えるさまざまな活動を展開



地球環境とともに

コニカミノルタは2050年をターゲットとする長期環境ビジョン「エコビジョン2050」を策定しています。「地球温暖化防止」を最重要テーマと位置づけるとともに、「資源の有効活用と資源循環」「生物多様性の修復と保全」に対して積極的に取り組む姿勢を明示しています。このビジョンの実現に向けたアクションプランとして、重点テーマと具体的な目標を定めているのが、2015年度をターゲットとする「中期環境計画2015」です。さらにその目標達成を支える活動として、「3つのグリーン活動」を展開しています。



社会とともに

コニカミノルタは、「企業市民」として社会から共感と信頼をいただく存在となるために、事業を活かして貢献できる課題に積極的に取り組むとともに、地域社会の課題に応える活動を世界各国で展開しています。

In Japan 被災地の支援活動に参加

東日本大震災の被災地の一つである宮城県南三陸町で実施された復興支援活動に、日本のコニカミノルタグループの新入社員約100名が参加し、がれきの撤去や清掃などに携わりました。



In U.S.A. 子どもたちに本を贈る活動

子どもたちを対象とする社会貢献を目的として「コニカミノルタ カラフルトゥモロー基金」を2007年から運営。2012年には、恵まれない子どもたちのために絵本を贈る活動「Books2BETTER」を実施しました。



In France 障がい者の社会参加を支援する活動

障がいをもつ人々がスポーツや教育、仕事などに参加しやすい環境を作ることを目的として「コニカミノルタ企業内基金」を2011年に設立。地元レベルから全国規模のプロジェクトまで幅広い活動に対して、資金を提供しています。



In China 障がいをもつ子どもたちの絵画コンテスト

2007年の「上海スペシャルオリンピックス大会」をきっかけに、上海・北京にある知的障がい児学校への支援を続けています。2011年には、「グリーンで夢を、カラーで未来を描く」をテーマにした絵画コンテストを開催しました。



世界41カ国に拠点を広げるコニカミノルタグループ



- 販売
- ▲ 生産
- 開発・その他

コニカミノルタ株式会社

情報機器事業

- 日本**
 コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)
 コニカミノルタビスコム(株)
 キンコース・ジャパン(株)
 (株)コニカミノルタサプライズ
 豊橋精密工業(株)
 コニカミノルタサプライズ関西(株)
 コニカミノルタ電子(株)
- アジア・パシフィック**
 Konica Minolta Business Solutions Asia Pte. Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions India Private Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions Australia Pty. Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions (M) Sdn. Bhd.
 Konica Minolta Business Solutions Vietnam Co., Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions (HK) Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions (WUXI) Co., Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions (Shenzhen) Co., Ltd.

- Konica Minolta Business Solutions (CHINA) Co., Ltd.
 Kinko's Korea Ltd.
 Konica Minolta Business Technologies Manufacturing (HK) Ltd.
 Konica Minolta Business Technologies (WUXI) Co., Ltd.
 Konica Minolta Business Technologies (DONGGUAN) Ltd.
 Konica Minolta Technology Development (Wuxi) Co., Ltd.
- 北米・中南米**
 Konica Minolta Business Solutions U.S.A., Inc.
 Konica Minolta Business Solutions (Canada) Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions do Brasil Ltda.
 Konica Minolta Business Solutions de Mexico SA de CV.
 Konica Minolta Supplies Manufacturing U.S.A., Inc.
- 欧州・中近東**
 Konica Minolta Business Solutions East Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions (Ideal) Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions (UK) Ltd.
 Charterhouse PM Ltd.

- Konica Minolta Business Solutions Italia S.p.A.
 Konica Minolta Business Solutions Roma srl
 Konica Minolta Ukraine
 Konica Minolta Business Solutions Austria GmbH
 Konica Minolta Business Solutions Nederland B.V.
 Konica Minolta Business Solutions Greece S.A.
 Konica Minolta Croatia-Business Solutions d.o.o.
 Konica Minolta Business Solutions Sweden AB
 Konica Minolta Business Solutions Spain S.A.
 Konica Minolta Slovakia spol. s.r.o.
 Konica Minolta Business Solutions Slovenia d.o.o.
 Konica Minolta Business Solutions Czech spol. sr.o.
 Konica Minolta Business Solutions Denmark a/s
 Konica Minolta Business Solutions Deutschland GmbH
 Konica Minolta Business Solutions Europe GmbH
 Konica Minolta Business Solutions Middle East FZE
 Konica Minolta Turkey İş Teknolojileri A.S.
 Konica Minolta Business Solutions Norway AS
 Konica Minolta Hungary Business Solutions Ltd.
 Konica Minolta Business Solutions SE, Ltd.
 Konica Minolta Poslovna Rjesenja BH d.o.o.
 Konica Minolta Business Solutions Finland Oy

- Repro Conseil S.A.S.
 Konica Minolta Business Solutions France S.A.S.
 Konica Minolta Business Solutions Bulgaria o.o.d.
 Konica Minolta Business Solutions (BELGIUM) N.V.
 Konica Minolta Business Solutions Polska s.p. z.o.o.
 Konica Minolta Business Solutions Portugal, Unipessoal Lda.
 Konica Minolta Baltia UAB
 Konica Minolta Business Solutions Romania s.r.l
 Konica Minolta Business Solutions Russia LLC
 Konica Minolta Supplies Manufacturing France S.A.S.

産業用材料・機器事業

- 日本**
 コニカミノルタケミカル(株)
 コニカミノルタオプトプロダクト(株)
 コニカミノルタオプトデバイス(株)
 コニカミノルタガラステック(株)
- アジア・パシフィック**
 Konica Minolta Opto (Dalian) Co., Ltd.
 Konica Minolta Opto (Shanghai) Co., Ltd.

- Konica Minolta Optical Products (Shanghai) Co., Ltd.
 Konica Minolta Glass Tech (M) Sdn. Bhd.
 Konica Minolta Sensing Singapore, Pte. Ltd.
北米・中南米
 Konica Minolta Sensing Americas, Inc.
- 欧州・中近東**
 Konica Minolta Sensing Europe B.V.
 Instrument Systems GmbH

ヘルスケア事業

- 日本**
 コニカミノルタヘルスケア(株)
 コニカミノルタテクノプロダクト(株)
- アジア・パシフィック**
 Konica Minolta Medical & Graphic (Shanghai) Co., Ltd.
 Konica Minolta Healthcare India Private Ltd.
- 北米・中南米**
 Konica Minolta Medical Imaging U.S.A., Inc.

欧州・中近東

- Konica Minolta Medical & Graphic Imaging Europe B.V.
 Konica Minolta Medical & Graphic Imaging Europe GmbH
 Konica Minolta Medical Systems Russia

その他

- 日本**
 コニカミノルタプラネタリウム(株)
 コニカミノルタ情報システム(株)
 コニカミノルタテクノサーチ(株)
 コニカミノルタビジネスアソシエイツ(株)
 コニカミノルタエンジニアリング(株)
- アジア・パシフィック**
 Konica Minolta (China) Investment Ltd.
- 北米・中南米**
 Konica Minolta Holdings U.S.A., Inc.
 Konica Minolta Laboratory U.S.A., Inc.



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社

〒100-7015 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー

<http://konicaminolta.jp>

シンボルロゴについて

地球をモチーフとしたシンボルマーク「グローブマーク」は、コニカミノルタの無限の広がり
世界中のお客様に対する新しい価値の提供を表現したものです。